

# 予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：交通対策費

## 事業名 リニア中央新幹線活用戦略推進プロジェクト事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 都市公園・交通局  
リニア推進課

電話番号：058-272-1111(内4954)

E-mail：c11135@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,951 千円 (前年度予算額： 7,000 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	7,000	0	0	0	0	0	0	0	7,000
要求額	9,951	0	0	0	0	0	0	0	9,951
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

リニア開業を見据えたまちづくりは、新次元の地方分散、SDG s の達成、盛土・残土等の環境対策といった新たな観点を加えて、令和 5 年 3 月に「第 2 次岐阜県リニア中央新幹線活用戦略（以下「活用戦略」という。）」をとりまとめ、取組を推進してきた。

令和 6 年 3 月に J R 東海より、品川一名古屋間の開業時期の延期が発表され、開業時期の見通しはできない状況となっている。一方で、リニア中央新幹線の整備は、岐阜県にとって未来を開くビッグプロジェクトであることには変わりはなく、引き続きこれまでの取組を推進していくとともに、東京では味わえない自然、食、伝統文化などの本県の魅力を生かし、都会の人々にリニア岐阜県駅で降りたら「別世界」に来たと思ってもらえるようなまちづくりを目指していく必要がある。

### (2) 事業内容

リニアを活用したまちづくりの実効性を高めるため、現行の活用戦略の内容は生かしつつ、東京からの視点、東濃・可茂圏域のまちづくりを踏まえたうえで、地元市町村や経済界、観光関係者などと議論を交え、活用戦略を改定する。

- ・活用戦略の改定
- ・リニア活用戦略研究会
- ・リニア岐阜県駅を核としたまちづくり検討会（仮称）

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10（県全体の広域的な観点で検討が必要な取組であるため）

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	179	活用戦略研究会、検討会への出席報酬等
旅費	354	活用戦略研究会、検討会への費用弁償等
消耗品費	826	消耗品
会議費	19	会議費
対外交流費	90	面談費用
役務費	204	電話代、郵便代
委託料	8,070	調査業務等
使用料	209	会場使用料等
合計	9,951	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

○「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2023年3月）

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(2) 次世代を見据えた産業の振興

⑤産業を支える広域ネットワーク・インフラの整備

観光・産業振興や基盤整備などリニアを活用した地域づくりを戦略的に推進する。

(2) 国・他県の状況

・リニア駅は、国土形成計画（全国計画）に掲げる全国的な回廊ネットワークを形成する上でも重要となる「日本中央回廊」の核として位置づけ

・岐阜県と同様、中間駅が設置される長野県と山梨県でも、それぞれ「長野県リニア活用基本構想」「リニアやまなしビジョン」を策定済

(3) 後年度の財政負担

活用戦略に基づき、継続的に実施

(4) 事業主体及びその妥当性

リニア開業効果を県内に広く波及させていくため取組であることから、県が主体となって戦略を推進

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
活用戦略で掲げた重点施策を実現させ、リニア開業効果を県内全域に波及させる。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R )	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R )	達成率
①						
②						

### ○指標を設定することができない場合の理由

活用戦略の進捗管理は、定量的な数値による表現に馴染まないことから、指標を定めることができない。

### （これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組内容と成果を記載してください。</li> </ul>
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組内容と成果を記載してください。</li> </ul>
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組内容と成果を記載してください。</li> </ul>
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

#### ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)  
2

活用戦略に基づく取組みは、リニア開業効果を全県的に波及させる手段であり、事業の必要性が高い。

#### ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり  
2 : 期待どおりの成果あり  
1 : 期待どおりの成果が得られていない  
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

#### ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

### (今後の課題)

#### ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

活用戦略の実現に向けた各種施策の目標時期の可視化、施策の進捗管理及び事業効果を検証し、必要に応じて事業の見直しを図る必要がある。

### (次年度の方角性)

#### ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

リニア開業に向け、活用戦略に基づき、着実に施策を推進していく。